

第4節 結核・感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

令和元年の管内の新登録患者数（表1）は32人で、昨年より12人増加し、罹患率は14.1と昨年（8.8）に比べ増加した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は11人で昨年に比べ4人減増加し、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は4.9と昨年と比較し増加した。新登録患者に占める割合は、34.4%と昨年と比較し減少した。

新登録患者の年齢階層別では（表3-1）では70歳以上が19人と全体の59.4%を占め、性別で見ると（表3-2）男性が20人で罹患率が8.8、女性が12人で罹患率が

5.3と男性が多かった。新登録患者の発見方法別内訳（表3-3）では、医療機関受診が21人で全体の65.6%を占め、その他 個別・定期健康診断が11人（34.4%）であった。

潜在性結核感染症に該当する者の届出は（表3-3）19人で、昨年（8人）と比較して増加している。発見方法別で見ると、接触者健康診断が15人となっており全体の78.9%を占めている。

令和元年12月末における管内での登録者数（表2）は61人で昨年より4人増加し、登録率は27.0で、石川県（19.8）を上回っている。活動性結核患者は12人で昨年より1人減少しており、有病率は5.3で昨年（5.7）と比べ減少した。

表1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移 (単位、患者数：人、罹患率：人口10万対)

		H27年	H28年	H29年	H30年	令和元年
南加賀管内	新登録結核患者数	35	29	40	20	32
	全結核罹患率 罹患率	15.3	12.7	17.5	8.8	14.1
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	14	9	13	7	11
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	6.1	3.9	5.7	3.1	4.9
	新登録結核患者に占める割合	40.0%	31.0%	31.0%	35.0%	34.4%
石川県	新登録結核患者数	149	126	138	110	100
	全結核罹患率 罹患率	12.9	10.9	12.0	9.6	8.8
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	65	41	56	32	37
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.6	3.6	4.9	2.8	3.3
	新登録結核患者に占める割合	43.6%	32.5%	40.5%	29.1%	37.0%
全国	新登録結核患者数	18,280	17,625	16,789	15,590	14,460
	全結核罹患率 罹患率	14.4	13.9	13.3	12.3	11.5
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	7,131	6,642	6,359	5,781	5,231
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.6	5.2	5.0	4.6	4.1
	新登録結核患者に占める割合	37.9%	39.0%	37.7%	37.1%	36.2%

表2 結核登録者数・登録率、有病者数・有病率の年次推移 (単位：人) 令和元年12月31日現在

		H27年	H28年	H29年	H30年	令和元年
南加賀管内	結核登録者数	65	58	65	57	61
	登録率（人口10万対）	28.3	25.4	28.5	25.1	27.0
	活動性結核患者数	22	20	27	13	12
	有病率（人口10万対）	9.6	8.7	11.8	5.7	5.3
石川県	結核登録者数	304	278	263	251	225
	登録率（人口10万対）	26.4	24.2	22.9	22.0	19.8
	活動性結核患者数	96	86	99	67	59
	有病率（人口10万対）	8.3	7.5	8.6	5.9	5.2
全国	結核登録者数	44,888	42,299	39,670	37,134	34,523
	登録率（人口10万対）	35.3	33.3	31.3	29.4	27.4
	活動性結核患者数	12,534	11,717	11,097	10,448	9,695
	有病率（人口10万対）	9.9	9.2	8.8	8.3	7.7

表 3-1 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症 (別掲)治療中
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性		
			登録時喀痰塗抹陽性 総数	初回治療	再治療					
総数	32	27	11	10	1	16	0	5	14.1	19
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	20～29	5	5	2	2	0	3	0	2.2	12
	30～39	4	4	1	1	0	3	0	1.8	2
	40～49	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	50～59	2	2	1	1	0	1	0	0.9	0
	60～69	2	2	2	2	0	0	0	0.9	1
	70～79	7	4	1	1	0	3	0	3.1	2
80～89	2	2	0	0	0	2	0	0.9	0	
90 以上	10	8	3	3	1	4	0	2	4.4	0
40 歳以上の比率	71.9%	96.3%	72.7%	70.0%	100.0%	62.5%	0.0%	100.0%		21.1%
70 歳以上の比率	59.4%	51.9%	45.5%	40.0%	100.0%	56.3%	0.0%	100.0%		10.5%

表 3-2 新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症 (別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性			
			登録時喀痰塗抹陽性 総数	初回治療	再治療						
総数	32	27	11	10	1	16	0	5	14.1	19	
性別	男	20	18	6	6	0	12	0	2	8.8	13
	女	12	9	5	4	1	4	0	3	5.3	6
市町別	小松市	14	11	5	4	1	6	0	3	13.1	2
	加賀市	10	9	3	3	0	6	0	1	15.6	13
	能美市	7	6	2	2	0	4	0	1	14.2	4
	川北町	1	1	1	1	0	0	0	0	16.0	0

表 3-3 新登録患者数（発見方法別）（単位：人）

平成 31 年 1 月 1 日～令和元年 12 月 31 日

	新登録患者総数	活動性結核							構成比 (%)	潜在性結核感染症 (別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			その他の結核菌陽性	菌陰性その他	肺外結核活動性			
			喀痰塗抹陽性 総数	初回治療	再治療						
総数	32	27	11	10	1	16	0	5	100.0%	19	
健康診断	健康診断	11	11	3	3	0	8	0	0	34.4%	16
	個別健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	定期健康診断	8	8	3	3	0	5	0	0	25.0%	1
	学校健診	1	1	0	0	0	1	0	0	3.1%	1
	住民健診	2	2	1	1	0	1	0	0	6.3%	0
	職場健診	4	4	2	2	0	2	0	0	12.5%	0
	施設健診	1	1	0	0	0	1	0	0	3.1%	0
	接触者健康診断	3	3	0	0	0	3	0	0	9.4%	15
	家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
その他	3	3	0	0	0	3	0	0	9.4%	15	
医療機関受診	医療機関受診	21	16	8	7	1	8	0	5	65.6%	3
	受診	11	8	5	5	0	3	0	3	34.4%	1
	他疾患入院中	7	5	3	2	1	2	0	2	21.9%	1
	他疾患通院中	3	3	0	0	0	3	0	0	9.4%	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	

表 4-1 結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

令和元年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	総数	活動性結核							不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性					肺外 結核 活動性			治療 中	観察 中	
				総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他						
					初回 治療	再 治療								
総数	61	12	10	6	5	1	4	0	2	49	0	5	21	
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20～29	9	1	1	1	1	0	0	0	0	8	0	2	10
	30～39	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2
	40～49	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	50～59	4	1	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	2
	60～69	6	1	1	1	1	0	0	0	0	5	0	1	0
	70～79	15	4	3	1	1	0	2	0	1	11	0	1	3
	80～89	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	1
90以上	11	5	4	2	1	1	2	0	1	6	0	0	0	
40歳以上の比率	80.3%	91.2%	90.0%	83.3%	80.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	77.6%	0.0%	40.0%	42.9%	
70歳以上の比率	59.0%	75.0%	70.0%	50.0%	40.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	58.7%	0.0%	20.0%	19.0%	

表 4-2 結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

令和元年 12 月 31 日現在

	登録者 総数	総数	活動性結核							不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性					肺外 結核 活動性			治療 中	観察 中	
				総数	登録時喀痰塗抹陽性		登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他						
					初回 治療	再 治療								
総数	61	12	10	6	5	1	4	0	2	49	0	5	21	
性別	男	35	7	6	4	4	0	2	0	1	28	0	1	14
	女	26	5	4	2	1	1	2	0	1	21	0	4	7
市町別	小松市	33	6	4	3	2	1	1	0	2	27	0	1	8
	加賀市	16	2	2	1	1	0	1	0	0	14	0	4	8
	能美市	11	3	3	1	1	0	2	0	0	8	0	0	5
	川北町	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移

(単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対)

		H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R 元年
南加賀管内	死亡数	1	2	2	0	1
	死亡率	0.4	0.9	0.9	—	0.4
石川県	死亡数	14	14	13	15	8
	死亡率	1.2	1.2	1.1	1.3	0.7
全 国	死亡数	1,955	1,892	2,303	2,204	2,088
	死亡率	1.6	1.5	1.8	1.8	1.7

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握（表9）を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6 結核登録状況（単位：人）

平成31年1月1日～令和元年12月31日

	前年末 総数 (A)	本年中登録			本年中抹消					本年末 総数 (A+B-C)
		新規	転入	計 (B)	死亡	治ゆ 観察不要	転出	その他	計 (C)	
合計	76	51	2	53	10	21	10	1	42	87
結核患者	57	32	1	33	9	16	3	1	29	61
潜在性結核感染症	19	19	1	20	1	5	7	0	13	26

表7 保健指導実施状況（単位：件数）

令和元年度

訪 問		来 所 相 談		電 話 相 談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
58	235	29	65		1,510

表8 管理検診実施状況（単位：人）

令和元年度

対象者 (A)	保健所	受 診 者 数						検 診 結 果			
		委託医療機関		定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観 察 不 要	
		内 訳									
		直接 撮影	喀痰								
116	0	94	94	13	22	0	116	100.0%	0	76	40

表9 結核定期健康診断の状況

令和元年度

	対象者数	受 診 者 数				検 診 結 果	
		受診者数	受診率%	検 査 内 容		患者発見数	発病の恐れのある者
				間接撮影	直接撮影		
合計	80,195	28,026	34.9%	14,969	12,283	0	0
事業主	10,942	10,551	96.4%	3,602	6,176	0	0
学校長	3,649	3,249	89.0%	1,075	2,173	0	0
施設長	2,027	1,928	95.1%	387	1,541	0	0
市町長	63,577	12,298	19.3%	9,905	2,393	0	0

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正（平成25年4月1日施行）により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表10 接触者健康診断実施状況（単位：人）

令和元年度

	対象者 (A)	受 診 者 数									検診結果			
		保健所実施	委託医療機関実施分						集団健診分	その他実施分	計 (B)	受診率 (B/A) %	発見 患者 数	発病 の恐 れ の あ る 者
			内訳	内 訳				内訳						
				IGRA	ツ反	直接 撮影	喀痰							
合計	440	336	336	50	0	44	0	6	54	54	440	100.0%	1	13
患者家族	53	40	40	13	0	10	0	3	0	0	53	100.0%	0	4
その他	387	296	296	37	0	34	0	3	54	54	387	100.0%	1	9

事業者研修会	<p>対 象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日：令和元年8月6日（火） 参加者 15名 令和元年8月26日（月） 参加者 23名 内 容：労働者（外国人含む）の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発生予防のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講 師 保健所職員</p>
結核対策研修会	<p>対 象：医療機関等における医師及び医療関係者 実施日：令和元年11月8日（金）19：00～21：00 内 容：結核対策研修会 1) 講話：「南加賀保健所管内の結核患者の現状と課題」 担当：南加賀保健所職員 2) 講演「グローバル化や働き方の多様化による結核管理の課題」 講師：公益財団法人結核予防会結核研究所 対策支援部長 太田 正樹 先生 参加者：39名</p>
治療成功のための支援事業	<p>コホート検討会（年2回）：診査会終了後に開催 実施日：令和元年11月27日（水） 11件 令和2年1月8日（水） 10件 内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：新登録の肺結核新登録患者（菌陽性）の内、治療終了者35名 参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者</p> <p>DOTSカンファレンス（10件開催） 実施日：4/5、5/10、7/19（3件）、7/25、8/2、9/27、11/15、1/10 会 場：小松市民病院、金沢市立病院 対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者（退院時に病棟から連絡、転院時に保健所から連絡） 参加者：本人、家族、病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師、服薬支援者（ケアマネージャー等）</p>

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ 4,992 件の相談に対応しており、感染症分類別では、

新型コロナ感染症が最も多く、ついで、結核、インフルエンザ（H1N1 含む）の順となっている。

特に、新型コロナウイルス感染症については、2月から指定感染症となり、帰国者接触者相談センターへ相談が多く寄せられた。またその他の感染症は例年と比べて集団発生数が減少傾向にあった。

表 11-1 感染症発生状況（全数把握）

（単位：人）

		H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R 元年
一類（全 7 疾患）		0	0	0	0	0
二類（全 7 疾患）	結核（潜在性結核感染症含む）	43	42	51	28	51
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
三類（全 5 疾患）	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	2	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	7	10	10	8	6
四類（全 44 疾患）	A 型肝炎	0	0	1	0	0
	重症熱血小板減少性症候群（SFTS）	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	0	2	0	1
	デング熱	0	1	0	0	0
	日本紅斑熱	0	1	0	0	0
	レジオネラ症	3	5	8	3	6
五類（全 24 疾患）	アメーバ赤痢	1	1	0	1	1
	ウイルス性肝炎	0	0	0	1	2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	2	2	8	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	1	1	3
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	1	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	3	2	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	5	0	3
	水痘（入院例）	1	2	1	1	1
	梅毒	2	2	2	1	2
	播種性クリプトコックス症	0	0	1	0	0
	破傷風	0	1	0	0	0
	百日咳	0	0	0	69	120
	風しん	0	0	0	5	0
	麻しん	0	0	1	0	0
急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	1	

（感染症発生動向調査より）

表 11-2 感染症予防相談状況（延件数）

令和元年度

		訪問相談		来所相談		電話相談	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
感染症総数		109	332	465	502	17	4158
(内訳)	一類感染症	0	—	0	—	0	—
	二類感染症（結核）	58	235	29	65	/	1510
	三類感染症	6	19	2	3	6	63
	(内訳) 腸管出血性大腸菌感染症	6	19	2	3	6	63
	四類感染症	6	8	0	—	6	38
	五類感染症	4	5	0	—	5	30
	その他	35	65	434	434	/	2517
	(内訳) 感染性胃腸炎(ノロウイルス含む)	/	16	/	2	/	115
	インフルエンザ	/	2	/	2	/	135
	予防接種	/	0	/	3	/	15
新型コロナウイルス感染症	/	20	/	3	/	1915	
上記以外	/	27	/	424	/	337	

表12 感染症発生動向調査月別患者報告数

令和元年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
小児科	インフルエンザ	管内	902	323	28	166	33	16	3	1	110	7	77	960	2,626
		県内	3,456	2,141	572	588	166	60	15	17	226	230	989	3,567	12,027
	RSウイルス感染症	管内	16	17	4	5	12	17	9	30	118	58	14	15	315
		県内	44	35	21	51	41	41	19	170	352	297	119	58	1,248
	咽頭結膜熱	管内	4	3	4	9	13	12	5	4	3	8	11	15	91
		県内	47	26	40	110	102	113	65	60	43	36	80	97	819
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	99	175	109	69	69	41	31	16	30	38	53	153	883
		県内	882	1,042	677	459	414	365	257	267	267	367	332	703	6,032
	感染性胃腸炎	管内	226	283	118	420	250	182	130	140	214	215	140	214	2,532
		県内	1,163	1,017	390	1,013	1,094	904	367	399	507	528	442	752	8,576
	水痘	管内	36	32	14	4	2	3	9	7	1	1	9	13	131
		県内	141	111	69	28	35	30	44	48	38	53	76	82	755
	手足口病	管内	0	0	1	0	3	72	587	53	65	75	38	13	907
		県内	29	5	7	2	45	663	2,341	316	261	307	160	162	4,298
	伝染性紅斑	管内	47	15	21	25	14	10	16	18	33	17	11	37	264
		県内	99	53	39	269	192	113	98	82	55	47	47	74	1,168
	突発性発疹	管内	7	8	5	4	8	5	4	4	8	5	6	3	67
		県内	33	23	24	51	54	46	37	61	49	47	22	31	478
	百日咳	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	1	2	54	4	5	4	0	0	70	
	県内	1	2	0	0	14	128	360	84	59	83	15	1	747	
流行性耳下腺炎	管内	1	0	1	0	0	1	1	2	0	0	0	0	6	
	県内	4	3	3	7	3	6	8	10	7	5	3	2	61	
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県内	3	5	0	11	9	23	16	29	22	19	5	11	153	
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県内	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	無菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	
		県内	1	2	0	2	1	2	2	1	1	1	5	2	
	マイコプラズマ肺炎	管内	6	8	3	3	7	5	4	5	10	7	5	7	
		県内	11	15	4	5	8	11	9	8	12	10	6	14	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	管内	0	0	0	25	17	0	0	0	1	0	0	0		
	県内	0	0	0	30	30	7	1	0	1	0	0	0		

表13 感染症発生動向調査月別患者報告数

令和元年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
STD	性器クラミジア感染症	管内	1	0	2	0	0	1	2	0	5	1	1	1	14
		県内	49	40	51	19	31	42	46	33	44	49	36	43	483
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	4	2	2	2	1	3	3	0	3	4	4	4	32
		県内	8	10	6	8	7	8	10	4	12	8	17	13	111
	尖形コンジローム	管内	2	3	4	0	2	1	1	0	1	2	1	3	20
		県内	4	3	7	0	6	6	2	7	5	4	2	8	54
	淋菌感染症	管内	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	7
		県内	7	9	10	11	7	11	9	8	4	7	8	4	95
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	5	7	6	6	7	5	4	9	10	11	12	11	93
		県内	15	14	13	14	13	12	12	13	22	18	20	19	185
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		県内	0	1	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	6
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況
(表 14-1、14-2)

令和元年度冬期の発生状況として、県内初発が当管内 9 月 9 日蓮代寺小で休校措置。その後、奥能登、津幡、野々市と南下し野々市市での発生翌日、11 月 27 日稚松小 3 年での発生。昨年より 4 週早く第 45 週(11/4~11/10) 石川県定点当たりの報告 (1.00) 流行期に入る。49~1 週は、AH1p d m09(98%、B 型(1%))、AH3 亜型

(1%)の順。警報レベル 131 (40 都道府県) 注意レベル 54(42 都道府県)。2020 年第 8 週、警報レベル 28 箇所(12 道府県)、注意報レベルを超えている保健所地域は 51 箇所(21 道府県) AH1pdm09 (76%)、B 型 (23%)、AH3 亜型 (1%)。

暖冬により、管内の発生件数は昨年より少なめ、新型コロナウイルスにより、3 月 3 日から管内休校措置が取られる。

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ 初発発生状況(令和元年度)

区分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町	
施設数		95	49	30	12	4	
発生施設数	127	25	15	4	5	1	
在籍数(人)	5,146	6,701	4,025	611	1,820	245	
患者数(人)	2,147	389	280	34	54	21	
措置状況	休校	4	2	1	1	0	0
	学年閉鎖	63	31	20	6	3	2
	学級閉鎖	60	82	49	3	28	2

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2 感染症発生動向調査 月別患者報告数(令和元年度)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	902	323	26	166	33	16	3	1	110	7	77	960	2,624
		県内	3,456	2,141	549	588	166	60	15	17	226	230	989	3,567	12,004

(3) エイズ相談状況 (表 15-1、表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成22年3月からは、午

前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て予約制とした。平成27年度からは、夜間もIC法となった。

HIV検査普及週間及び世界エイズデーでは、受検者の増加を図るため、公衆浴場やカラオケ店、コンビニエンスストア等に検査日時の記入されたポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談状況

令和元年度 (単位: 件)

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	92	34	126	36	0	90	126	90	36	126
夜間	53	22	75	0	0	75	75	75	0	75
合計	145	56	201	36	0	165	201	165	36	201

表 15-2 HIV抗体検査状況

令和元年度 (単位: 件)

	受検者数			陽性者数			(再掲)迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10歳代	7	1	8	0	0	0	3	0	0
20歳代	34	35	69	0	0	0	38	0	0
30歳代	31	6	37	0	0	0	22	0	0
40歳代	32	5	37	0	0	0	19	0	0
50歳以上	12	2	14	0	0	0	8	0	0
合計	116	49	165	0	0	0	90	0	0
(再掲)夜間	53	22	75	0	0	0	0	0	0

(4) 性感染症相談状況 (表 16-1、表 16-2、表 16-3)

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿

検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返送される。判定不能者には再検査を実施した。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

令和元年度 (単位: 件)

	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症尿検査			
		計	陽性	陰性	判定不能	計	陽性	陰性	判定不能
男	107	91	2	89	0	88	3	85	0
女	47	41	0	40	1	36	8	28	0
計	154	132	2	129	1	124	11	113	0

表 16-2 クラミジア検査件数（性別・年齢別） 令和元年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	88	3	29	20	26	6	4
女	36	1	30	3	1	1	0
計	124	4	59	23	27	7	4

表 16-3 梅毒検査件数（性別・年齢別） 令和元年度（単位：件）

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上
男	91	4	30	22	24	7	4
女	41	1	31	4	4	1	0
計	132	5	61	26	28	8	4

(5) 肝炎ウイルス相談状況（表 17）

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感
染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイル

ス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎
ウイルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況

令和元年度（単位：件）

	計	HCV 抗体 の検出	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査			相 談 件 数
		陰 性	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
				HCV 抗原検査		陽 性					
				陰 性	陽 性						
男	86	0	86	0	0	0	0	86	86	0	136
女	37	0	37	0	0	0	0	37	37	0	
計	123	0	123	0	0	0	0	123	123	0	

(6) 肝炎ウイルス検査状況（表 18）

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、
肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的

とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実
施している。

表 18 肝炎ウイルス検査状況

令和元年度（単位：件）

計	HCV 抗体の検出 または HCV 抗体検査	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査		
	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
		HCV 核酸増幅検査							
		陰 性	陽 性						
399	399	0	0	0	0	399	397	2	

(7) 肝炎対策推進事業

肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日・会場

令和元年 10 月 28 日 (月) 14:30～16:30

石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

平成 14 年度から令和元年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等

講演会 21 名、個別相談 5 名参加

(エ) 内容

【講演会】

「B型肝炎・C型肝炎の最新の治療」

講師：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者：金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

(根拠法令：肝炎対策基本法 第 17 条)

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

(ア) 目的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年の性に関する正しい知識を普及するとともに、青少年の性行動の背景にある心の問題（寂しさや自己肯定感の低さ等）に、青少年に関わる関係者が適切に対処できるよう研修することにより、青少年の生きる力を育成することに寄与する。

(イ) 開催状況

新型コロナウイルス感染症の発生により 2 月 27 日に予定されていた研修会を中止